

ちょう よう

重陽の節句



「重陽の節句」の食べ物

- ・食用菊、菊花酒…菊には邪気を払い長寿の効能があると信じられています。
- ・栗ご飯…収穫した栗を神様に感謝して食べる習慣があります。



世田谷区でも毎年「ふれあい農園※」にて野菜の収穫体験や9月頃には栗拾いを実施しています。重陽の節句を楽しむために参加してみたいはいかがでしょうか。



※ふれあい農園については区のおしらせ「せたがや」のホームページをご覧ください。

「重陽の節句」とは？

古来中国では奇数は縁起がよい「陽数」、偶数は縁起の悪い「陰数」と考えられ、陽数の最大数である「9」が重なる9月9日を「重陽」と呼び、節句の一つにしました。中国では、陽が極まって陰を生ずる不吉な日とされ忌み嫌う厄除けの行事が行われました。

菊の香りに移した菊花酒を飲んで邪気払いや無病息災、長寿を願ったことから別名「菊の節句」とも言われます。民間では栗飯を食べることから「栗節句」とも言われます。

明治時代以降には祝祭日からはずされ他の節句と比べると馴染みの薄い節句ですが、氏神の秋祭りとして収穫祭が行われたり、健やかで幸せな日々が続くことを願う大切な日です。

参考：農林水産省ウェブサイト、和食文化の保護・継承に向けた事業の紹介